

新潟縣民報

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室】
【電話・(新潟)23-5511 内線626】
【振替 新潟 4094】

発行人 会長 吉津 勝栄
編集人 事務局長 本田 重清

一毎月1回 15日発行
【定価 1部15円 年会員 180円】

題字 新潟県知事 漢田十一郎



【柳水閣での主事会幹事会】

第2回主事会幹事会

10月4日、新潟市柳水園で本年度第二回主事会幹事が開かれた。約20名ほどの出席者がおり、

この日新幹事長に選ばれた小平市公民館館主事務官田明氏の司会で、当日の研究協議題「公民館職員の専門性について」をめぐらしく熱いじみた論議が展開された。この問題が終結するに纏め研究してしまひになつた。また吉澤会長も出席し「今後の予算会に期待する」腹のあいさつがあつた。以下当時の論議のあらましを要約してみた。

館なしに公館職員は、はたして公民館独自の機能と職員としての専門性を持ちえないのかどうか。このへんに現状分析と将来の展望への研究問題がある。

その一つの方向として、公民館は社会教育施設の分化が進んでも、

公民館のあるいは公館職員にとって、果て専門性は不要なのである。いや決してそうではない。たとえば、視聴覚教育の技術、司会の技術、広報の技術等は一般事務職ではないらしい技術で、ペラン公民館主事たるもののみなぞそれ自らの技術、自信をもつている。館報を編集させれば誰

専門性について御意見募る

この問題は次号において、県内各公民館の主事の方々の意見を載せる予定で、今後も誌上討議のかたちでさらに問題点の究明を続けていきたいと思ひます。各層の御意見を募ります。(編集部)

問題点として話したことを述べた。その理由のひとつには、先行きが不安だとする考え方がある。また、その理由のひとつには、市民館・婦人会館・青年研修所等の類似施設の増加が、公民館における活動分野の自然的縮小ないしは消滅をまねいていくのではないかとするものがある。つまり、公民館は、他の類似施設ができればできなくなるほど、あこがれ手足をもぎとられるといつて、ついには公民館を置かなければならぬという現行法では公民館に公民館主事官を定め、事業、先般実施された国勢調査の調査員第11項「仕事の種類」の記入の際には、公民館主事官は「一般事務職」とのみしか書けないことがなってしまった。

にちがひない。正にそれをやれば
町一帯なんだ。百姓どもに認められ
ている職員が多い。だからこそ公
民館主事にはがむわる専門性を認
めてもらいたいと思っていて人が
多いのだ。それゆえ過去の公民館
大会等においても職員の身分確
立、施設の完備充実等の実現をめ
ざす公民館独立法の制定決議がな
されってきたのではないか。かくして
この問題に対する論理的展開と、
行動的展開の方針を見出す必要があ
る」ということになり、今後さ
らにこの問題を追究することとな

大道廢れて

「老子」の第十八章に山とく
る有名なところは、大道とほくお
よそこれ道が道だといわれてゐる
道は、「常の道」。水運の道じ
はない」といって、いふ常の道の
こと。人間も自然の中の一つの
現象にすぎないもので、永遠の
道を支配されざる者間にのみ
られる道の選の価値判断にとり
われるは永遠の道。原理は本原
理にさからうとして、老子は
考へるだらう。誠といふ价值
判断が世間に強くなれるので、常
ときこそ、それは人間が本原の
道を忘れたり自分自身ですでに
しまつたとまでいふ意味の
ことばが此がれてくるのだ。常
識からみるよ道筋的なひねつ
た表現である。しかしこれは
人間が本原自身をみずから手
で破壊する不自然性を示すことで、
も指摘していると言える。今日
では、正しい道が行なわれない
いやな時代にこそかえり立派
な行ないをする者があらわれる
ものだ、といったまちがつた解
釈のしかたを使用が行なわれて
いるからだ。

職員の専門性論議で白熱

幹事長に和田主事（小千谷）選ぶ

問題点として話し合われたこと

本会議事局が移転する。P. 22

政治小説の發展

「プロ議員研修会」考え方」として P. 6
立派に育った地方議員……………P. 7

第五回長期講習会終わる

県青年の家で最後の仕上げ



惜しまれる名物館長

(激励のことばを述べる吉津会長)

広川館長が事故死

(小谷)

小谷市公民館長広川利兵衛氏(六十六)が10月1日同市内みみきりで列車事故のため亡くなられた。

広川館長は昭和二十一年ぶり、いわゆる文部次官通牒が出来たときに車庫などを利用了した公民館監督のリーダーとして大活躍していたといふ県公民館

活動の草分けである。本会董事、小千谷町助役、同教育委員長、最近では県スキーリ連盟会長、県図書館協会副会長など歴任本年慶賀社会教育効果者として県教育委員会表彰が内定していた矢先のことであつた。さる10月上旬山梨県立和行園跡の御夫人の看病疲れで補経が休まらないと訴えていたことがあり、参加者

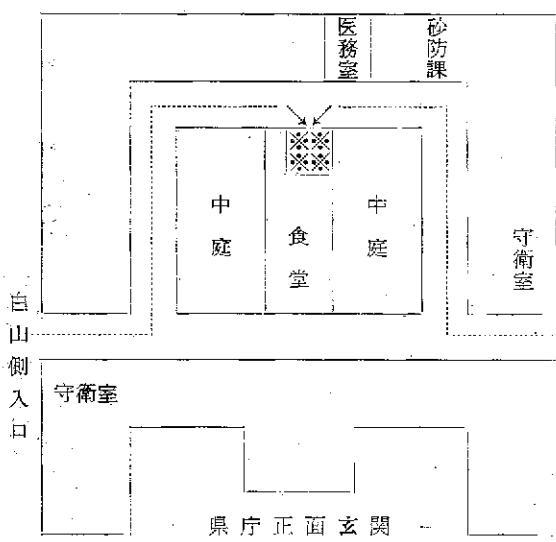
名を新たに加えられた。

第二回、富因社会教育課長補佐の開会あいさつ。本会吉津会長の激励のことばがあり、大西新大教授の「社会構造」の講義から幕を開けた。折悪しく会場前の道路が地盤復旧の工事中で騒音激しく、各講師にそれぞれマイクを手にして奮闘していたが、受講者も懇意条件の中やすがんばった。し

かく、講習の後半は、かなり気味で、一部の受講者が受講態度のいかがわしいものを見受けられた。このことは、講義内容が「社会教育概論」「學習心理」「日本経済の動向」等、概論的・一般教養を中心としたものであるものと、主として、受講生も加わったこととの影響もあるものと見て取られる。このため県では、今後国で同種の講習を開く場合現在のいわゆる長期講習会に力を注ぎ、県やその場合に直接生かすことができる技術を中心としたカリキュラムを組んで開催することを考えている。

本会事務局が移転——分館から本館内教課分室へ

県庁本館1階平面図



※は県公連事務局新所在地
(県社会教育課分室・教育放送室)

電話 (28) 5511内線626

本会事務局新所在地
新潟市学校町1 県庁本館1階
社会教育課分室(教育放送室)

守衛室

電話 (28) 5511内線626

本会事務局新所在地
新潟市学校町1 県庁本館1階
社会教育課分室(教育放送室)

電話 (28) 5511内線626



〔講演する宇佐川助教授〕

の蒸発現象、秋田の出稼ぎ地区の父親の失う問題、綱さがし運動などをもつた手ける。根本には日本の経済の激動期という問題とからんでいる。サラリーマンの家庭でも、無恵、無業、無書の父親がある。父親があると、父親がよそへいる、「何が彼をするのかどうかを考えると、やはり居させたが」、家へ戻りきつて帰つてくる父親は、無責任な子供が、家庭も向こへない、じつは結論になつてゐる。誰もこれを責めることはできない。孤立した家庭が社会に対しても、地帯となつてゐる。そして、金体のなく無責任である。さて、このことは、父親であるべきおじをもつてうどき退していなくてはいけないと認識せざるをえない。このことは、父親の蒸発現象、秋田の出稼ぎ地区の地域社会が崩壊しつつあるとき問題がある。しかし職場家庭は逆行しているのではないかといふ問題もある。されば、社会の生活が疎かされ、周辺を見まわすと、個人ではなく、社会の向上へむかう結論になつてゐる。うつもならない問題ばかり多く、共同でやるべき事業に目を向けて、家庭との関連を再発見、そしてそれを公民館へ期待したい。そしてそのための事業の企画案、実施を強めていく必要がある。これが本大会の分科会議課題である。住民の自治組織を本物とする必要がある。本大会の分科会議課題があるのは、家庭教育学級、婦人学級は盛んなのであるが、生活技術的なものが多い。このへんに公民館の考えるべき問題があるだろう。

地域課題解決への機能果たせ

住民生活と公民館

「住民生活」と「公民館」と題して人間が、そのためにこそ機能すべき立場となつてゐる。そこで、本体のない無責任な立場となつてゐる。孤立した家庭が社会に対しても、その課題意識をもち、その解決策をはかるとする。これに対する

生活と公民館

これは、あるいきおいをもつてうござ
を退していくことの問題があ
ざるをえない。ひとことは、父親
の蒸発現象(秋田の出稼ぎ地区
の父親の失業問題)、親子がし違
動(一)をみてもうなずける。根本
には日本の経済の激動期といふ問
題とからでいる。サラリーマン
の家庭でも、無恵、無業、無嘗の
父親がふえていて、「何が彼をそ
うさせたか」、家へ戻れきつて帰
つてくる父親は、無嘗生となるが、
誰もそれを認めておことはできない
。孤立した家庭が社会に対しても、
地帶となつてゐる。

家庭教育学級、婦人学級は盛ん
であるが、生活技術的なもののが多
い。このへんに「公民館の考える
べき問題点があるだよ」、
地域社会が開拓しつつあるとき
に「地域社会」を看詰しているの
は逆行しているのではないかと少
く疑問もある。しかし、職場と家庭
があれば、社会の生活が潤たされ
るかどうかを考えると、やはり居
る立場がある。これが住民自治
の出发点である。住民が居住社会
の課題意識をもち、その解決策を
はかるとする。これに対する

農家の子弟が農業をやるとは限
らない。ほかの職業ももちろんで
ある。家庭が切断し、世襲的なも
のが破壊されていく。家庭文化は
つながらない。現在はマスクミミ
化、外から守られる文化が
が強くなりつつある。封建社会か
ら資本主義社会へ移行するにつ
れて、家庭は消費の単位となり、單
なるホームとなって、家庭の位置
がある。

これは日本だけのことではなく
、ソ連においても新しい時代
の家庭のあり方が検討されている
。これは、共同で対処しなければな
らない住民の課題にはタッチして
いないかったのではないか。地域に
は田内金のような末端の自治組織
も生きていた。それが、どういう
問題がある。これは、どことども
のみにこどももしては解決で
きない問題で、地域の共同の力を大
きく發揮しなければならない。
公民館は、住民サービスとして
みだしたものには無形なものも多
いが、これが失われていく。

現に、地域に入るとカギ子の
みにこどももしては解決で
きない問題で、地域の共同の力を大
きく發揮しなければならない。
公民館は、住民サービスとして
みだしたものには無形のものも多
いが、これが失われていく。

近県の優良公民館

会教育法令集

県本館
社会

正道

御一報次第

等の業界に就職
する。

社會教育委員會

第二章

A
五版34ペ
123

全國公民館名簿

昭和 40 年版

B5判 300ページ 上製本
定価 700円(税90円)
・全国都道府県公民館名簿
・全国公民館の概況

- ・公民館関係諸統計表
 - ・文部大臣表彰優良公民館一覧発行所 全公連

公民館の役割

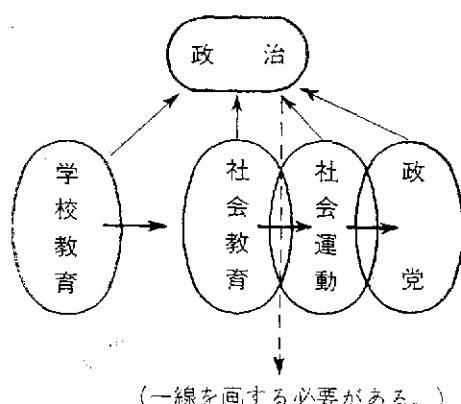
(その4)

<5ページから
お読みください>

県社会教育主事

島川 鉄二

⑧政治と教育



社会教育に関する集団が、そのまま社会運動の集団になったりする所に問題がある。移行に当たっては、目的を同じくする者で再組織が必要。



婦人学級で討論学習のアドバイス、まん中が池田主事

池田主事は一口いひも、農業生年の先進地視察、婦人学級では家庭の人間関係、健えほほなどとのきらいなねほら強い勢力家であるといふことができず、彼の目力の鋭さのなかに透んだ深みがそれを見明する。実践教育で有名な加賀治民の内原国高は、兵隊にも行ったが、学校事務、卒業後は、兵隊にも行ったが、文部省に編入され、

⑨教育をどう考えるか

1. 学習——非我を媒体とする自我の主体性の確立
2. 社会教育の目標

- (1) 疎外の克服（主体性の確立）、人間性の確立（身体的・精神的な全面発達）をめざす「主体者形成」
- (2) 国民大衆が基本的人権にもとづいて、生産労働・政治・文化の社会活動のない手となり、主権者となってゆく「主体者形成（人間変革）」のはたらきを意味する。

五 公民館主事に自信と信念を

公民館は下請けと雑用化によって独自性を失い、主事は自信と信念を失いかけているのではなかろうか。昭和28,29年ころの公民館万能時代に示したあのすばらしかった自信と信念を現時点の課題を背負って、再び示してもらわねばならぬ時である。

(附記)——参考にした図書並びに学者名

- ①②——「新潟県総合開発計画」(新潟県)
 ③——「新潟日報」
 ④——「コミュニティ」福武直
 (地域社会研究所)
 ⑤——月刊「社会教育」7月
 ⑥——東京教育大学教授 平沢
 ⑦——東京都立大学助教授 三井
 ⑧——千葉大学助教授 福尾
 ⑨①——東京都立大学助教授 三井
 2——東京教育大学教授 平沢

蕉友彦為友薦

家畜を飼うことがすぎて大いに馬鹿見えた」と語る池田主事。

「もはや育てて繁殖しているが、公民館主事としては本人は個性性格で欠点だといつてもいいが、地元住民たる私の情熱が公民館活動を

活動を開いていくかと課題とされるといふと言えない」といふ

と思います。その意をねじて、中古バイクを買ってやつ

ていいか地元住民たる私の情熱が公民館活動を

開いていくかと課題とされるといふと言えない」といふ

と思います。その意をねじて、中古バイクを買ってやつ

ていいか地元住民たる私の情熱が公民館活動を

開いていくかと課題とされるといふと言えない」といふ

と思います。その意をねじて、中古バイクを買ってやつ

ていいか地元住民たる私の情熱が公民館活動を

開いていくかと課題とされるといふと言えない」といふ

十日町市中条公民館主事

池田 清氏

清 池 田

現時点における

④問題解決の可能性

①生活者集団をどのように組織化するか

四回にわたって掲載してまいりました「現時点における公民館の役割」は今回で終りました。第一回は六月号、第二回は七月号、第三回は九月号と載せてありますから、もう一度、読み返していただくとよく理解いただけるものと存じます。島川先生からは、さらにわかりやすいように論を展開していただく予定です。一編集者

組織範囲	個人	家族	近所	部落	市町村	広域
集団形態の一例	通信教育 読書 マスコミ 講義	家族会議 家族旅行	訪問集会 五人組	職能組合 自治組織 学級形態 サークル	団体・サークル 公衆化 運動形式 制度的組織	連絡組織 協議会 委員会 実践組織

②生活をどのように考えるか

生活の分類	組織環境 (人間関係) (衣・食・住)	方法 (くらし方)	機能 (職業)	政治 (国民の意志決定)
生活の発展	民主化↓	文化化↓	合理化↓	生産化↓
教育の分担				
自覚化・主体化・実践化				

③課題をどのようにとらえるか

課題の分類	生活課題	発達課題	地域課題	学習課題	超課題
課題の特徴	生活への適応	年代における地位の役割	文化・社会生産・教育	共同学習のテーマ	生活の規範

⑤学級の条件

⑦問題解決の結びつけの方法

- 自主性
- 等質性—
・客観的等質性
(平等性)
・主觀的異質性
- 継続性
- 固定性

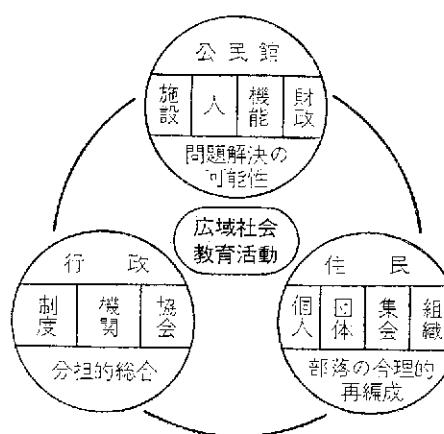
住民のねがいや問題を掘り起こし、これを行政側に示し、解決のメドを示してもらう。

これを公民館報などに広報し、住民の意識化(自覚化、主体化、実践化)につとめる。

上記は一例であるが、このことは、住民側にも、制度側にも体質改善を育てて行く。

⑥問題解決の手順(P.R.)

- 調査
- 問題
- 計画
- 提案
- 実施



参 加 の 動 機

参 加 の 民館の当面する問題点は何かを強したいと考へたこと、公民館の組織の性格研究、さるに講師の組織化を試みた。これが見るると、中島先生をおはじめとして白頭鷦鷯や講演で親近感のある方々が多數来られる等、まことに他人には學習には進んで参加

1 公民館の若返り法

というところは一応そなつたが、農村における実態はどうであらうか。水永教授の話によると、子マークにおける農村の後継者は、国民高等学校を終えると、面倒のことを離れて他家へ労働に出る。それで数年勤め先の農業經營に従事しながら自分の営業にかかる。五才頃までは、生家の両親が在經營している一切を賣い取る度の貯蓄ができるといふのである。両親は一切を振り渡した金をもとにして、自費の老人ホームが開設による老人宿舎に移つて行く。そこで終老の後を送ることとなる。

うことは一恵をもつたが
における実態がどうであ
るか、水杉教授の話にかかると、テ
クにおける藤村の後継者は

りよとか、問題を面白みつけよなあ
公 いいながら自分自身さうなり実践
題 しないで動かしの夢じそ一拳との
王 気質もあつた。
機 さて佐渡における五日間の研修会
とをよりかえって、わつとも鮮やかに
な印象はなかと考えてみると、
自分も社会教育に携わる一日として
見て、今口まで二度は考えていた

切をゆずつて静かにその成長を見
守つてゐる。いふなれば老後は別

第十一章 中国古典文学名著

来につながる生活課題の発掘

然としていた語問題を、それぞれの立場の先生から極めて明快に理解せらるべきであつた。しかし、この小論がある。

まいか、公民館若返りをはかるための一つの提案でした。

未につながる生

社会教育委員会は社会教育課の諮問機関ではない。教育委員会の事は行政官である。行政の基盤は地域住民の世論である。故に社会教育大事は出論を行政に反映させることを受け持つべきである。日本本の教育委員会はどこかく学校教育委員会と間違われ易い。こうしたわかりきった道理をもう一度それ

その立場から考え方直す必要がある。となるべく直さなければならぬ」といふに問題がある。

と
発掘

5 教員養成学部と社会教育

希望者は一年以上の専攻科を開設する必要である。なお社会教育担当員としての研修に打ちさせる態勢が必要である。

卷之三

7 勤労青少年教育
の編成

埼玉県の例として、職業学校として、学校教育・社会教育の中間に位置させて発達させたケースがある。とくに学級を編成したがる。しかし、学校教育・社会教育の二つで、何よりも重要なのは、その指導を一層開いてからさせてどうするかと考える大方の現在のありかたは即刻改められなければならない。

日本の現実を改め職業を通して実際の学問を身につけ、教養をうけさせむつとする試みである。学校

人一人の力は小さくとも、それぞれの立場にあるわれわれ同志が、がつちり手を組んで、持ち場を拡進へ歩むしか手はない。同志諸君

国、県立社会教育研究所
9 10 待遇改善
この三項およびその他のいいつけなど、もとと述べてみたが、すでに紙数が尽きた。他の機会にゆする。

以上ホーテル大佐渡の広間で、タオルで汗をききき論じてくる永蔵教授の熱氣蒸れる風貌を思い出ししながら、私なりに其心こだまし出しあつた。

3 社会教育委員会の業務

5 教員養成学部

四〇

社会教育講師の一
般聞合から見て
9 8 国、県立青年の家
国、県立社会教育研究所

ご寄贈ありがとうございます

